

令和2年度 全国学力・学習状況調査問題分析

学校教育課通信

令和2年8月27日(木) 第159号

編集・発行：県南教育事務所 板橋 竜男

7月中旬に令和2年度の全国学力・学習状況調査問題等が各学校に送付されました。先生方は、既に問題に目を通してみただけでしょうか。調査自体は中止になりましたが、次のような取組が望まれます。

- 先生方自身が実際に問題を解くことで学習指導上特に重視される点や身に付けさせるべき力等について、問題からのメッセージを自分なりに読み取る。
- その上で、以下の資料や配付されている解説資料を参考にして、授業改善に生かす。

各校において今年度はこのような場を設定することがなかなか難しいかもしれませんが、可能な範囲で研修の機会を確保してほしいと思います。

県南教育事務所では、指導主事が国語と算数・数学のグループに分かれて問題を解き、出題の特徴や授業改善の視点について分析会を行い、その結果を次ページ以降にまとめました。他校種の内容も指導に生かしていただけるよう、国語、算数・数学ともに「小中共通」「小学校」「中学校」に分けてまとめましたので、ぜひお読みいただき、参考にしてください。



<各教科のポイント>

〔国語〕

- 子どもたちは、メモを取るように指示をするとすべて書き取っていませんか？
- 子どもたちは、「話したい」「書きたい」という思いを持って言語活動に取り組んでいますか？
- 子どもたちは、物語を学習するときに「今日は○場面からですよ」と問いかけてきませんか？
- 子どもたちは、なんのために「話し合い」をするかわかっていますか？
- 子どもたちは、「調べ学習」をする際に必要な本を探せていますか？

〔算数・数学〕

- 子どもたちは、問題を理解して解決に取り組んでいますか？
- 子どもたちは、「考えてみたい」「やってみよう」という思いを持って学習に取り組んでいますか？
- 子どもたちは、自分の考えを書くことに戸惑っていませんか？
- 子どもたちは、「計算ができる」「グラフがかける」ことで満足していませんか？
- 子どもたちは、全体で一つの問題を解いて、あとは適用問題で類題を解くだけになっていませんか？

詳しくは、次のページからをお読みください。

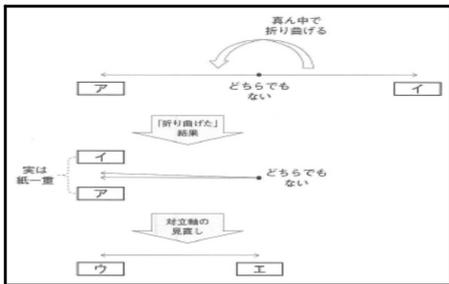
| 出題の特徴等 | 授業改善の視点 |
|--|--|
| <p>① 目的に応じた取材の進め方と取材したことをどのようにメモをとるかの問題が出題されている。</p> <div data-bbox="188 398 678 761" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">【メモ】③</p> <p style="text-align: right;">4/19 (日)</p> <p>○取材をした相手 一人ぐらしの森さん</p> <p>○インスタント食品のよき ・一人分だけ作ることができるから作りすぎない ・食材をむだにすることが少ない ・長持ちするから ・買い置きができる</p> </div> <p>② 描写（叙述）に基づき、登場人物の心象が捉えられている。また、複数の叙述を結び付け、主人公がどんな存在に感じているのかを問う問題が出題されている。</p> <div data-bbox="438 817 678 1478" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">【物語の最後の部分】</p> <p>そのつぎの日、学校から帰ると、きょうこそ、子ギツネをにがしてやろうと考えて、正太郎は納屋のほうにかけていきました。「や、や、や」</p> <p>果箱をのぞいてみて、かれはうろたえました。子ギツネがいない。かげもかたちもないのです。正太郎は、さっそく母屋にとびかえりました。「おかあさん、ころしたんじゃないでしょうね」</p> <p>正太郎は心配そうに母を見つめました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: right;">【ふせん①】</p> <p>「うろたえました」という言葉から、乳持ちが伝わっている。</p> </div> </div> | <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」の授業を中心に話の「聞き方」について訓練をしていく必要がある。話合い活動の中でもどんなことに注意して話を聞くのか、また、聞き取った情報を目的等に応じて取捨選択したり、情報と情報を関連付けたりする場を設定したい。 話合い活動の中で「他者の意見についてメモを取る」授業が見られるが、すべてを書き取ろうとする子どもが多い。「何を」「どんなふうに」（→で結び付けたり図式化したりするなど）メモを取るのか視点を与えたり、目的を意識したメモの取り方をする利点等を実感させたりすることが重要である。 一つ一つの語句や人物描写等に注目させるなど「言葉による見方・考え方」を働かせる発問が必要である。自分の考えを伝え合うのみで終わる話合いではなく、言葉を吟味したり、こだわったりする活動を通して、深い学びにつなげていく授業を展開したい。 「うろたえる」「まぶたの奥があつくなる」など語句の意味を捉えることが大切である。辞書的な意味も含め、描写と関連させて文脈から語句の意味を捉えさせることも必要となる。 物語を場面ごとに読むだけでなく、全体を通して読むことが求められている。教材を教えるのではなく、どんな力を身に付けさせたいのかを明確にした単元構成を工夫したい。 「本の紹介」をするという言語活動が設定されている。「ブックトーク」や「ビブリオバトル」等の活動を司書教諭などと連携していくことが学校図書館の活用にもつながる。 |
| <p>③ 取材したことや図、グラフ等描写を根拠にして自分の考えを形成する問題が多く出題されている。</p> <div data-bbox="167 1635 678 1993" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【本の一部】「プラスチックのみみつ」という題名の本</p> <p>◇ プラスチックを買って使おう</p> <p>プラスチックは、軽くて丈夫で持ち運びがしやすいうえ、さまざまな製品に加工することができます。わたしたちの生活を見回してみると、プラスチック製品はどんどん増えていて、生活になくはないものとなっています。</p> <p>こんなに便利なプラスチックですが、実はプラスチックの多くは自然には分解されません。植物や動物などから作られるものは、土や水の中で微生物によって分解され、なくなってしまいます。しかし、わたしたちの身の回りで使用されているプラスチックはほとんどが石油から作られているので、自然の中では分解されません。そのため、ずっと残ってしまうのです。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> 「考えの形成」がどの領域でも求められている。自分の考えの根拠となるものを選択させる場面、また、根拠をもとにしながら相手にわかりやすく伝えるための文章の構成の仕方を考える場面を設定したい。 自分の考えを形成する上で読書との関連を図りたい。必要な情報を得るための本の探し方や収集した多数の情報を関連づけたり、取捨選択したりする場面を様々な授業の中で取り入れていくことが語彙力を豊かにすることにもつながってくる。 |

出題の特徴等

① 聞き手や資料を、活用し、活きたえし、考とる問題を問うている。

- 「橋本さんの動画の活用仕方について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選択してください。」
- 1 聞き手と動画の内容を同じ動作をしてもうために、動画を静止させたり流したりして話している。
 - 2 聞き手に注目してほしい内容を聞かせるために、必要な場面を動画を静止させて話している。
 - 3 聞き手に言葉では表現しきれない内容を伝えるために、一度示した場面を繰り返して流して話している。
 - 4 聞き手に自分の話に集中してもらうために、内容に応じてこの中で画面の映像を消して話している。

② 論理的思考力を問う問題が出題されている。2つの文章を読み比べて同じ意味かどうかを問う問題である。また、文章を図で表すことで文章の要旨をとらえる問題が出題されている。



③ 自分の考えを伝えるために適切な擬態語を選び、その語句の辞書に書かれている言葉意味と自分の考えを関連付けて俳句を完成させる問題が出題されている。

「創作している俳句」

卒業に ころぼれる涙

「言葉の候補」

A ほろほろ
B ぼろぼろ
C ぼろぼろ

授業改善の視点

意識的動機・目的意識・言語意識・相手意識
 ショー場としての動機・目的意識・言語意識・相手意識
 ショー場としての動機・目的意識・言語意識・相手意識
 ショー場としての動機・目的意識・言語意識・相手意識



・ 説明文や論説文を要約したり、文章の構成の仕方を捉えたりする授業に加えて、異なる文章が同義であるかを分別するために、キー・コンテンツを換言したり、主語を変えて表現したりすることにより正確に文章の意味を理解することにつながる（リーディングスキルテスト「同義文判定」）。また、文章の要旨を他者にわかりやすく伝えるために図表を使って具体例を挙げながら説明することにより文章の内容を把握することができる（リーディングスキルテスト「イメージ同定」）。

・ 情報と情報との関係を図式化して整理する力は、「思考力・判断力・表現力等」のすべての領域と関連が図られるものである。教師主導ではなく、生徒自身に情報を整理させる場を設定していくことも大切である。

韻文だけでなく、他教材を学ぶ際にも「なぜその語句を使う必要があるのか」「他の言葉を使うとすればどうなるのか」「言葉の吟味・考案」「言葉による見方・考え方を働かせる」「言葉の活用」「言葉の活用」「言葉の活用」

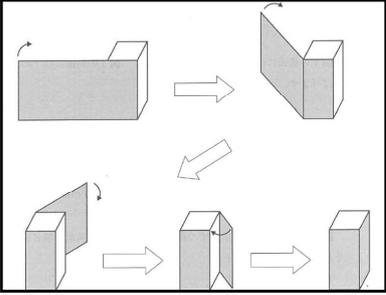
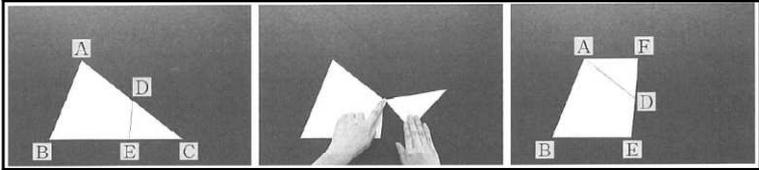
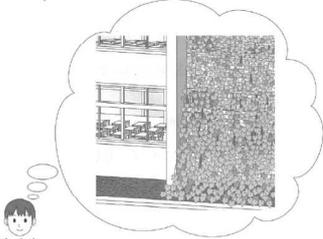
「辞典の記述」

ほろほろ ①涙や葉・花びらといった小さく軽いものが、音もなく落ちてこぼれ落ちる様子。②山鳥・雉・鳩といった鳥の鳴く声。

ぼろぼろ ①大粒の涙をこぼす様子。かたまりや粒などが、落ちてこぼれ落ちたり崩れたりする様子。②物がひどく破れたり崩れたりしている様子。

ばろばろ ①涙や小さい粒状のものが、一粒ずつ落ちてこぼれ落ちる様子。②ひとかたまりになつていたものが水分を失って、ばらばらになる様子。

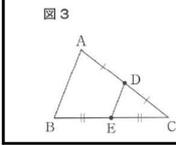
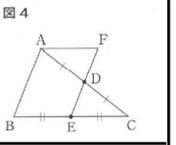
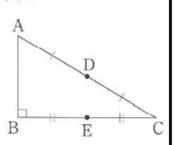
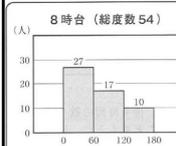
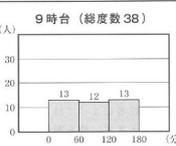
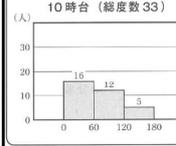
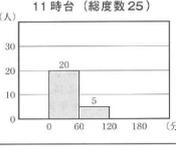
<算数・数学共通>

| 出題の特徴等 | 授業改善の視点 | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----|-----|-----|-----|---|---|---------|-----|----|-----|-----|-----|
| <p>① 長文を読んで意味を理解し、問題の条件や何を問われているかなど、必要な情報を取り出したり整理したりすることができないと、解決できない問題が多い。</p> <p>② 基礎的・基本的な計算のプロセスを問う問題が出題されている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 長文を読む読解力（リーディングスキルテストの視点）、初めから諦めずに読む粘り強さが必要である。授業においては教科書や資料を中心に「読む」ことを大切にするとともに、授業外の活動においても、例えば、「視写」、「音読」、「新聞の要約や縮約」などの取組を通して、長文を正しく読む力を継続的に育てていく必要がある。 ・ 計算技能の習熟を図ることは大切であるが、方法の丸暗記ではなく、「なぜそうなるのか」を十分に理解させることが大切である。 | | | | | | | | | | | | |
| <p>次の連立方程式を解く過程1には、手順①、②にそれぞれ対応する計算があります。手順①に対応する計算がある部分は、連立方程式を解く過程1の下線部です。手順②に対応する計算がある部分を、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| <p>③ 具体物の操作活動を題材とした問題が出題されている。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 図形の性質等を考察する際に、具体的な操作や観察などの活動を意図的・計画的に取り入れていく必要がある。  | | | | | | | | | | | | |
| <p>④ 日常の生活や社会の問題を題材としている問題が多く出題されている。</p> <div data-bbox="185 1391 671 1756" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>たくまさんの学級では、夏をすずしく過ごすために、ヘチマを育てて、緑のカーテンを作ることになりました。緑のカーテンとは、窓の外に植えたヘチマなどの植物で、日ざしをさえぎるようにしたものです。</p>  <p>たくま</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 算数・数学で学んだことが実生活の中で活用されていることを児童生徒に実感させるとともに、学ぶ意義や必要感が生まれる授業にしたい。全国学力・学習状況調査授業アイデア例や活用力育成シートの活用などが考えられる。また、総合的な学習の時間等で学んだことを活用する場を設定するなど、カリキュラム・マネジメントを機能させることも大切である。 <div data-bbox="639 1570 1145 1883" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ある病院では、来院者にアンケートを実施しています。アンケートの結果として、午前中の混んでいない時間帯を知りたいという要望が多くありました。</p> <p>病院職員の啓太さんと春花さんは、来院者に午前中の混んでいない時間帯に受付をしてもらえるように提案をしたいと考えています。二人は、ある週の月曜日から金曜日までの午前中の来院者数について、次のような表にまとめました。</p> <p>曜日ごとの来院者数</p> <table border="1" data-bbox="651 1783 1098 1877"> <thead> <tr> <th>曜日</th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来院者数(人)</td> <td>134</td> <td>98</td> <td>110</td> <td>102</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table> </div> | 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 来院者数(人) | 134 | 98 | 110 | 102 | 150 |
| 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | | | | | | | | |
| 来院者数(人) | 134 | 98 | 110 | 102 | 150 | | | | | | | | |

< 算数 >

| 出題の特徴等 | 授業改善の視点 |
|--|--|
| <p>① 「答えの求め方」、「式の意味」、「計算の方法」、「判断の理由」を記述する問題が出題されている。そのうち、2題は「～の説明（考え）と同じように（もとに）」のように記述の例が示されている。</p> <div data-bbox="199 488 746 651" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【はなごさんの説明】</p> <p>2.5l + 0.36について、0.0lのいくつかを考えると、$25l + 36 = 287$という整数のたし算に表すことができます。0.0lが287個分なので、答えは2.87です。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> 教師がモデルを示して、それを基に説明や理由を「書く活動」を取り入れて、「書くこと」への抵抗感を和らげるとともに、表現力を高める必要がある。評価テスト等でも、教師が作問し、同形式の問題に取り組ませたい。 <div data-bbox="778 593 1361 633" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>0.75 + 0.9について、【はなごさんの説明】と同じように、</p> </div> |
| <p>② 式や図、グラフの読み取りに関する問題が多く出題されている。</p> <div data-bbox="247 772 595 1041" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> | <ul style="list-style-type: none"> 立式したり図やグラフをかいたりする活動は大切であるが、よりそれらを読み取る活動に重点をおき、理解を深める必要がある。併せて、問題理解や問題解決のために、数直線図等を効果的に活用し、言葉や図、式それぞれを関連付けながら説明活動（他者説明）を行うなど、言語活動の充実を図る必要がある。 <div data-bbox="619 936 1297 1041" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>図2の四角柱について、求め方の中の「5×4」は、どのようなことを表していますか。「5」と「4」が何を表しているのかがわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。</p> </div> |
| <p>③ 誤答を修正する問題が出題されている。</p> <div data-bbox="215 1167 651 1413" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>はなごさんは、【はなごさんの考え】と【ようたさんの考え】を見て、【はなごさんの考え】の中の○を、【ようたさんの考え】の中の○のように直す必要があることに気付きました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【はなごさんの考え】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【ようたさんの考え】</p> </div> </div> </div> | <ul style="list-style-type: none"> 多くの児童が誤ったりつまずいたりすると予想される内容を意図的に取り上げ、それを評価したり改善したりする活動を大切にする必要がある。 |
| <p>④ 1 m^2のいくつか分、$1/4\text{ L}$のいくつか分、0.1や0.01のいくつか分など、単位となる量に関する問題が多数出題されている。</p> <p>⑤ 基本的な技能、知識・理解に関する問題では、割合（百分率）の問題が複数出題されている。</p> <div data-bbox="295 1727 555 2033" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの単元を通して単位となる量についての数学的な「見方・考え方」を働かせた単元構想、授業構想にする必要がある。 「割合」に関する内容は、継続的な課題となっており、重点領域として指導する必要がある。その際、2学年から学習する「倍」の見方について、テープ図や線分図などを活用した指導を継続的に行う必要がある。 |

< 数学 >

| 出題の特徴等 | 授業改善の視点 |
|---|--|
| <p>① 「方法」、「事柄」、「事柄の特徴」、「理由」を記述する問題が出題されている。</p> <p>「～ならば、……になる。」という形で書きなさい。</p> <p>調べたことの、8時台と11時台のヒストグラムを見ると、春花さんのように「60分未満の来院者数は、8時台の方が11時台より多いとは言いきれない」と主張することもできます。その理由を、相対度数を使って説明しなさい。</p> | <p>生徒が数学的な「見方・考え方」をもとに自分の考えを記述する時間を確保するとともに、仮定と結論（主部と述部）を明確にして記述するなど、よりよい表現に洗練する活動を重視する必要があります。また、算数の出題にあるように、記述例を基に説明や理由を「書く活動」を取り入れていき、定期テスト等でもそのような形式で出題することは有効であると考えられる。</p> <p>1か月間で集まった紙パックの合計の重さを45000gとします。このとき、紙パックの枚数の違いがおよそ何枚になるかは、上のグラフから求めることができます。その方法を説明しなさい。ただし、実際に枚数の違いを求める必要はありません。</p> |
| <p>② 付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明する問題が出題されている。</p> <p>(2) 芽依さんは、次の図3のように、前ページの図1の△ABCにおいて、点Eを辺BCの中点にとった図をかき、その図をもとに、△DECと合同な△DFAをかき加えた図4をかきました。</p> <p>図3  図4 </p> <p>(3) 右の図5のように、12ページの図1の△ABCを、∠Bの大きさが90°である三角形に変え、点Eを辺BCの中点としたとき、△ABCからできる四角形ABEFがどんな四角形になるかを考えます。 このとき、四角形ABEFは平行四辺</p> <p>図5 </p> | <p>一定の条件の下で問題を解決した後に、条件を変えたり加えたりして考察する場を設定することにより、新たな学びを促し、学び続ける態度を育むことが大切である。</p> <p>用語の意味を教えて覚えさせるだけでなく、日頃の授業でも教師が積極的に活用したり、生徒に用語を使って説明させたりすることが大切である。 また、「資料の分析と活用」の用語の意味理解には特に課題が大きいので、適宜、復習の機会を設ける必要がある。</p> |
| <p>③ 「絶対値」、「変化の割合」、「中央値」、「範囲」といった用語の意味を理解していないと解決できない問題が多数出題されている。</p> <p>④ 計算問題を解く過程やグラフの読み取りに関する問題が出題されている。</p> <p>調べたこと</p> <p>8時台 (総度数54)  9時台 (総度数38) </p> <p>10時台 (総度数33)  11時台 (総度数25) </p> <p>調べたことの、8時台と11時台のヒストグラムを見ると、春花さんのように「60分未満の来院者数は、8時台の方が11時台より多いとは言いきれない」と主張することもできます。その理由を、相対度数を使って説明しなさい。</p> | <p>「計算する」、「説明（証明）する」、「グラフをかく」などの活動と併せて、「計算過程を読む」、「証明（説明）を読む」、「グラフから読み取れることを伝え合う」などの活動を重視し、理解を深める必要がある。</p> <p>連立方程式を解く過程1</p> <p>神の内側に当てた回数をx回、神の外側に当てた回数をy回とすると、 $\begin{cases} x + y = 15 & \dots\dots ① \\ 3x + 2y = 40 & \dots\dots ② \end{cases}$ ①の両辺を2倍すると、$2x + 2y = 30 \dots\dots ③$ ②から③をひくと、$\begin{array}{r} 3x + 2y = 40 \\ -) 2x + 2y = 30 \\ \hline x = 10 \dots\dots ④ \end{array}$ ④を①に代入すると、$10 + y = 15$ $\begin{array}{r} y = 15 - 10 \\ y = 5 \dots\dots ⑤ \end{array}$ ④、⑤より、$x = 10, y = 5$</p> |

<今後の全国学力・学習状況調査の予定>

【令和2年度】

- 令和2年度調査問題活用参考資料（仮）配布 9月下旬頃
- 問題の公表（国立教育政策研究所HPに掲載） 10月下旬頃

【令和3年度】

- 実施予定日 令和3年5月27日（木）
- 対象教科 国語、算数・数学
- 結果の返却及び公表の時期 8月中旬から下旬頃